

産学連携の学位プログラムで

あなたの **知** を **博士(工学)** に変えます。
キャリアアップ に繋がります。

筑波大学大学院

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは
社会人を積極的に受け入れます。

現代社会にひそむ無数の「リスク」
 有事からしなやかに復旧する「レジリエンス」

リスク・レジリエンス工学学位プログラムでは、
 リスクを工学的方法により分析し、レジリエンス社会の
 実現のために活用できる人材を養成します。

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは

- 現代社会で必要とされる4つの研究分野で構成

リスク・レジリエンス基盤

情報システム・セキュリティ

都市防災・社会レジリエンス

環境・エネルギーシステム

- 自立した研究者としての研究能力を養成
- 高度専門職業人としての研究能力と豊かな学識を養成
- 博士後期課程(標準3年間)〈学位:博士(工学)〉
- 修了後には大学の客員教員や非常勤講師として人材育成に携わる道も

学位プログラム: 達成すべき能力が明示され、それを修得できるように体系的に設計された新しい教育プログラム



世の中を、
リスクで
 診る。

レジリエンスで、
 未来を見る。



協働大学院方式によるハイブリッドな教育システム

本学の専任教員に加え、レジリエンス研究教育推進コンソーシアム(下記)に
 参画する14の企業・研究機関の専門家があなたの知を涵養します。

協働大学院方式

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム



詳しくは <https://r2ec.jp>

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム

修了生の声

株式会社東急総合研究所

真城 源学 さん

博士後期課程早期修了プログラム 修了
 令和6年3月 博士(工学)取得



自身の研究実績の整理整頓作業を通して、より高い研究能力を修得したいと考えていました。この実現には、博士号取得が一番の近道であるかわかってはいたものの、多くの時間と費用がかかる、自身の研究能力向上にマッチした環境があるかなど、様々なハードルがあると捉えていました。

しかし、早期修了プログラムの理解が深まるにつれて、あきらめの気持ちから、チャレンジしてみたいという意欲が湧いていくのが実感できました。実際、入学してみると、精度の高い自己評価の仕組みや、先生方のレベルの高い指導、充実した事務的サポートが用意されていて、働きながら無理なく研究生活を過ごすことができました。

今後は、博士として、その高いプレゼンスを発揮し、自身の研究能力に磨きをかけ、レジリエントな社会の実現に貢献したいと思っています。

リスク・レジリエンス基盤分野

協働大学院教員

日本自動車研究所

教授 安部原也 ドライバ行動, 自動車安全性, 自動運転
准教授 北島創 自動運転, 認知科学, ヒューマンエラー分析

労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

准教授 岡部康平 労働災害, 安全設計, 協働ロボット, 介護機器

産業技術総合研究所

准教授 佐藤稔久 運轉行動の計測・モデル化, 運轉の楽しさ

専任教員

教授 伊藤誠 安全性, 信頼性, ヒューマンファクター
教授 イリチユ(佐藤)美佳 統計科学, ソフトコンピューティング
教授 遠藤靖典 クラスタリング, 機械学習, データ解析
准教授 木野泰伸* プロジェクトマネジメント, システム開発
准教授 高安亮紀 数値解析, 精度保証付き数値計算, 無限次元力学系
准教授 古川宏 認知インタフェース, モバイル, 教育・知識
助教 齊藤裕一 人間機械系, システム安全制御
助教 三崎広海 計量経済学, ファイナンス, ビッグデータ

都市防災・社会レジリエンス分野

協働大学院教員

防災科学技術研究所

教授 白田裕一郎 防災情報, 災害動態解析, 意思決定支援
教授 酒井直樹 災害リスク, IoT/AI, リモートセンシング
教授 藤原広行 地震・津波に対するハザード・リスク評価

専任教員

教授 鈴木勉 都市解析, 空間情報科学
教授 谷口綾子 都市交通計画, リスク・コミュニケーション
准教授 梅本通孝 人的被害軽減のための都市・地域ソフト防災
助教 木下陽平 衛星測地技術の気象利用, SAR, MaaS 利用

環境・エネルギーシステム分野

協働大学院教員

産業技術総合研究所

教授 加藤和彦 太陽光発電システム, 火災・感電リスク
教授 田原聖隆 ライフサイクル評価, インベントリデータベース
准教授 頭士泰之 化学物質リスク, ケモインフォマティクス

電力中央研究所

教授 山本博巳 エネルギーシステム分析, 低炭素エネルギー

専任教員

教授 岡島敬一 新エネルギー技術・システム評価
教授 庄司学 構造信頼性, 地震・津波災害, ライフライン
教授 羽田野祐子 環境動態, 放射性核種, 福島事故, エアロゾル
助教 秋元祐太郎 燃料電池, 非破壊診断, 再エネ・EVの融合
助教 鈴木研悟 エネルギーシステム, 機械学習, ゲーミング
助教 Abdulrahman Joubi 太陽エネルギー, 水素製造, 技術経済の評価

*印は東京キャンパス常駐教員です。

情報システム・セキュリティ分野

協働大学院教員

セコム株式会社

准教授 島岡政基 認証基盤, トラスト, セキュリティ研究倫理

専任教員

教授 面和成 ネットワークセキュリティ, 暗号技術の応用
教授 津田和彦* 自然言語処理, 情報検索, ソフトウェア工学
准教授 西出隆志 公開鍵暗号とその理論, 暗号プロトコル設計
准教授 干川尚人 ネットワークシステム, DX, 安否確認
准教授 吉田光男* 計算社会科学, ウェブ情報学, 自然言語処理
助教 高橋大成 ブロックチェーン, 暗号プロトコル

本プログラムの社会人を応援するコンテンツ

社会人のための入学試験

- これまでの研究業績や経験を活かせる**社会人特別選抜**を実施します。
- 従来の**4月入学**に加え、**10月入学**が新設されました。
(※受験する入試の種類によります。詳しくはお問い合わせください)
- 試験会場は**つくばと東京**から選べます。
- 修士の学位を有していない方も、事前の出願資格審査を経て、出願が可能となります。

柔軟で多様な学修・研究環境

- 希望する指導教員が所属する機関で、研究指導が受けられます。
- 東京キャンパス常駐教員を指導教員に指名することにより、夜間や土曜日に東京で研究指導を受けられます。また、東京キャンパスで開講している授業も受けられます。
- 研究指導は、**複数指導体制**(3名)により、大学の専任教員と協働大学院教員の両方から指導を受けることもできます。

長期・短期の学修計画

- **長期履修制度**を利用すれば、トータルの学費負担は変わらず学修期間を最大5年間に延長できます。
- **早期修了プログラム**により最短1年間で博士号を取得することも可能です。(履修審査あり)

達成度評価によるきめ細かな学修サポート

- 学生ポートフォリオ等の作成を通じて、自らの達成度を確認しつつ学修を進められます。さらに、年2回の個別面談により3名以上の教員から**学修達成度評価**を受け、その結果を学修の改善に役立てることが出来ます。
- 必要に応じて、ご自身の専門に関わる科目のほか、大学院共通科目や他研究群の科目などを受講することもできます。

■ 就学に必要な経費 検定料：30,000円 入学料：282,000円 授業料：535,800円(年額)

奨学金制度、研究支援制度、入学料・授業料免除制度等が利用できる場合があります。
また、ご自身の機関にも支援制度がある場合があります。 ※勤務先就業規程もご確認ください。

博士前期(修士)課程もあります。詳しくはプログラムサイトをご覧ください。 <https://www.risk.tsukuba.ac.jp/>

